

中国隋唐石刻史料研究特別講座のご案内

2011年1月14日
氣賀澤保規（明治大学）

この度、東京大学東洋文化研究主催の関野貞プロジェクト「文化財保護と石碑の世界」にあわせて、洛陽から**趙振華**先生（洛陽古代芸術館）と**裴建平**先生（偃師府店人民政府文化站）が東京に来られ、1月20日から1週間ほど滞在されることになっております。

趙先生は、最近『洛陽古代銘刻文献研究』（三秦出版社）という大作を発表された洛陽における隋唐石刻の第一人者です。また裴先生は、洛陽地区石刻拓本にしばしばその名が登場する拓本資料学の名手として広く知られた方です。

そこで、このような著名な先生が東京に来られる機会をとらえ、特にお願いして、1月21日（金）に下記の企画を設定させていただくことになりました。学期末の忙しい時期ではありますが、時間を作りご出席いただけることを願っております。また研究室や周囲の方々にご案内をいただければ幸いです。

1、中国拓本の採り方の実演実習講座——あわせて日中拓本比較

日時：1月21日（金）午前9時30分～昼頃

場所：明治大学文学部考古学実習室（明治大学猿楽町校舎第二校舎3階）

（JR御茶の水駅徒歩5分。地下鉄神保町駅徒歩5分）

講師：裴建平 先生

内容：明治大学東アジア石刻文物研究所所蔵墓誌石刻から採拓（実演）。

採拓法の紹介と関連講義（墨、紙、たんぽなど一式持参）。自由な質疑応答。

あわせて出席者にたいし先生の指導助言の下採拓実習も計画しています。

なお当日は、明治大学考古学研究室の石川日出志教授も瓦当や土器の拓本採りを実演、拓本方法をめぐる日中比較も行います。

（終了時間は不確定です。各人の都合にあわせ自由に出入りして下さい。）

この企画が終了後、引き続いて下記の講演会を行います。

2、講演会

日時：1月21日（金）午後3時～午後5時

場所：明治大学博物館教室（明治大学アカデミーコモン地階）

（JRお茶の水駅徒歩3分、地下鉄神保町駅徒歩5分）

講師：趙振華 先生

（通訳：宇都宮美生・洛陽理工学院副教授）

題目：唐代の石工（パワーポイントも使用します）

講演終了後、質疑応答と意見交換の時間を設けます。

3、趙振華・裴建平両先生を囲む懇親会の開催

上記講演会終了後の1月21日（金）の夕刻、会場近くで両先生を囲む懇親と歓迎を兼ねた場を設けます。唐代史研究会に関わる各位には、こちらへのご出席もよろしくお願いいたします。

共催 明治大学東アジア石刻文物研究所（Tel 03-3296-4491）

明治大学大学院文化継承学講座（Tel 03-3296-4143）

※会場へは添付地図を参照してください。

